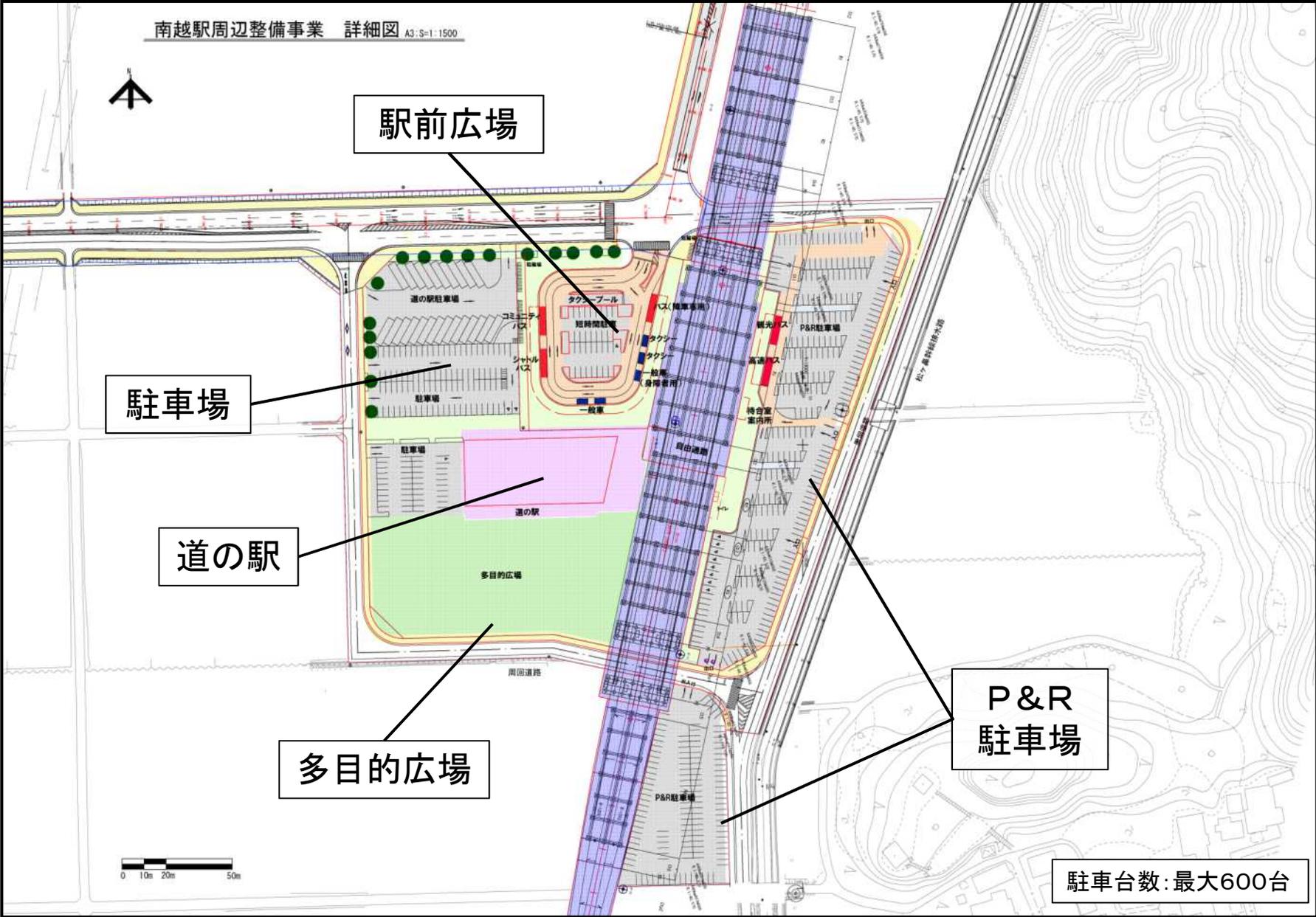


- ・H27年度策定の南越駅周辺整備基本計画では、開業までに備えるべき施設をアクセス道路、駅前広場、P&R駐車場、道の駅としている
- ・本年7月に、道の駅の運営・設計業務事業者を決定したので、提案概要を説明する
- ・本年7月に実施した仁愛大学でのアンケート結果について説明する
- ・本年6月に、計画策定支援及び市場調査業務をURリンクージに委託したところであり、同社のノウハウを活用し、大阪開業までのまちづくり計画全体の構成と市場調査の進め方を確認する
- ・あわせて、計画策定に係るスケジュールを確認する

# 北陸新幹線南越駅(仮称)周辺 平面図(1月30日:第1回策定委員会)



資料作成:越前市都市整備課

<図面情報:平成30年12月時点(一部変更の可能性有り)>

# まちづくり計画の方向性について

(5月29日:第2回策定委員会のまとめ)

新しい仕掛けが自立しサステナブル(持続可能)なものに(龍田委員)  
経済性+ $\alpha$ が必要。持続可能な世の中も+ $\alpha$ のひとつ(南保委員長)  
具体的で実現可能なものを(西藤委員)  
次世代に誇れるものを(大塚委員)

商業施設には事業性が必要(岡本委員)  
越前市が元々持っているポテンシャルの挿入(下川委員)  
他地域との比較ではなく越前市のいいところの発信(酒井委員)  
丹南地域を包括した考えが必要(美濃委員)

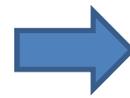
幹事会提案

**「持続可能」**(Sustainable)・**「実現可能」**(Feasible)と丹南地域を踏まえた  
**「越前市らしさ」**を計画の方向性の軸とする

## 越前市らしさ

### ものづくりのまち

先端産業と伝統産業の共生  
都市と自然・田畑の共生  
多文化との共生



共生のまち

女性が輝くモノづくりのまち～子育て・教育環境日本一～

越前市総合戦略より

令和5年春の北陸新幹線南越駅(仮称)の開業を契機として、越前市の未来を担う拠点を創造する。

# まちづくり計画のさらなる機能誘導について

(5月29日:第2回策定委員会のまとめ)

## さらなる機能誘導に向け、 実現可能性・持続可能性を高めるために必要となる機能とは

例えば

- 日常の購買力を確保するための就労施設
- 日常の購買力を確保するための居住施設
- この地域に整備する施設の従業員のための居住施設

幹事会提案

### 近未来都市の整備や最先端の企業誘致を検討する

福井県一のものづくり都市として更なる発展を目指すには、自動走行やドローン配送、キャッシュレス、自立エネルギー供給などの最先端技術を活用した近未来都市の整備や、AIやIoT関連のハイテク企業の研究部門やスマート製造ラインの誘致を検討することが有益

# まちづくり計画の対象区域について (5月29日:第2回策定委員会のまとめ)

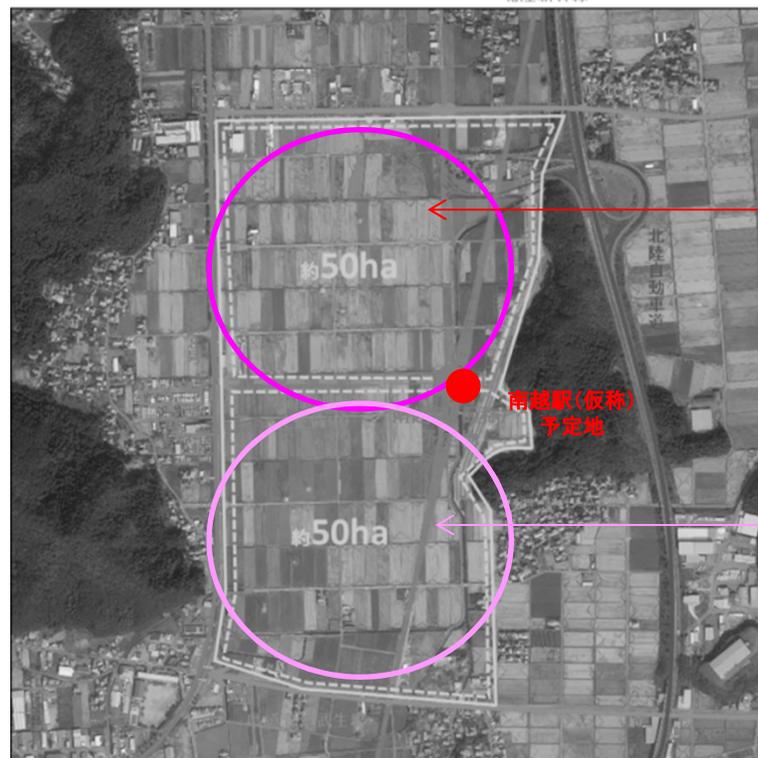
## (課題)

虫食いの開発は防がなければならない(美濃委員)

ゾーニングや虫食い対策が大事(龍田委員)

幹事会提案

策定委員会で方向性を検討し、区域全体(約100ha)についてゾーニングによる一定のルールを設ける



検討の中心となる区域

南越駅(仮称)とICに挟まれポテンシャルが高い

北側の機能を補完・促進するための区域

# まちづくり計画の時間軸について (5月29日:第2回策定委員会のまとめ)

5年、10年、20年、30年後の計画性が必要(美濃委員)

敦賀開業と大阪開業を見据えた段階的な整備構想が必要(小川委員)

幹事会提案

次の3局面を目標段階に設定する

